



特集  
新春を迎えて  
TACパワーアップ大会  
理事会だより

2018  
1

あさがおの情報を発信しています。どうぞご覧ください  
農産物直売所あさがおのブログ  
「あさがおだより」  
<http://www.ja-asahikawa.or.jp/asagaodayori/>



平成30年4月27日(金)まで

## JA教育ローン 次世代応援キャンペーン

固定金利型 借入期間に応じて 年1.40%～年1.80% 変動金利型 年1.40% (平成29年12月1日現在)

保証料別 農信基型 年0.40% 民保型 年1.00%

基準金利より、  
下記の組み合わせで 最大 年0.50% 引き下げ!!

①JAカード ④公共料金1項目  
②カードローン ⑤共済取引  
③給与振込・年金振込 ⑥購買もしくは販売取引  
上記取引のうち、  
既存または新規ご利用1項目につき  
年0.10% 引き下げ!!  
(最大 年0.30%)

18歳未満のお子様が3人以上の方は  
年0.20%  
引き下げ!!

当組合の住宅ローンご利用者は  
年0.20%  
引き下げ!!

※ローン商品の詳しい内容につきましては店頭で説明書をご用意しております。  
※店頭にて返済額の試算を承っております。  
※ローンご利用中に繰上返済を行う場合や返済条件を変更する場合には、別途JA所定の手数料が必要となります。

借入金額 50万円以上 の方には 新米 をプレゼント

JA あさひかわ あさひかわ農業協同組合 ローンセンター

住所:旭川市豊岡4条1丁目1番18号 TEL:0166-86-6100  
土曜・日曜も営業しております(定休日:水曜・祝日) 営業時間9:00～17:00

旭川中央支所 TEL 26-3511  
神楽支所 TEL 61-4111  
厚生病院支所 TEL 32-9011  
旭正支所 TEL 32-2231

神居支所 TEL 61-4126  
江丹別支所 TEL 73-2111  
春光台支所 TEL 52-7857

北部支所 TEL 51-4336  
近文支所 TEL 53-1126  
永山支所 TEL 48-2171

豊岡支所 TEL 31-3188  
忠和支所 TEL 62-2185  
北野支所 TEL 87-2131

年末・年始のコンビニATMの稼働・手数料のご案内  
(平成29年12月31日～平成30年1月8日)

平素は当JAをご利用いただき誠にありがとうございます。年末・年始のコンビニATMの利用時間ならびに手数料について下記の通りご案内申し上げます。

対象ATM:セブン銀行ATM・ローソンATM・E-netATM(セイコーマート等)

※JA/バンクキャッシュカードのご利用可能時間帯を表示しておりますが、ご利用のATMによって稼働時間(始業・終業)が異なりますのでご利用できない場合もございます。詳しくは、ご利用のATMの掲示等でご確認願います。

平成29年12月31日(日)～平成30年1月3日(水) 利用可能時間:08:00～21:00 日曜・祝日手数料  
※日曜日・祝日・1月3日・年末日は日曜・祝日のご利用手数料は108円となります。

平成30年 1月 4日(木)～平成30年1月5日(金) 利用可能時間:08:00～22:00 平日手数料  
※平日8:45～21:00の時間帯はご利用手数料は無料、その他の時間帯はご利用手数料108円となります。

平成30年 1月 6日(土)～平成30年1月8日(月) 終日お取扱い休止となります

※JA/バンク全国統一システムの更改により、当JA設置ATMのほか、他金融機関設置ATM・コンビニATM、すべてのATMが利用休止となります。



●発行所/あさひかわ農業協同組合●編集/管理部総務課●住所/旭川市豊岡4条1丁目1番18号  
●電話/0166-31-0111●FAX/0166-31-1555●E-mail/webmaster@ja-asahikawa.or.jp  
●平成30年1月1日発行 ●編集発行/あさひかわ農業協同組合 管理部総務課 ●印刷/㈱総北海

## 新春を迎えて

代表理事組合長

白鳥隆志



新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様にかかれましては、平成30年の新春をご家族お揃いでお迎えになられましたこととお慶び申し上げます。また、常日頃から農協事業に対しまして深いご理解とご協力を頂いております事に感謝申し上げますとともに本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

ふり返れば平成29年も様々な出来事がありました。国際的にはアメリカの異質なトランプ大統領の誕生、北朝鮮のミサイルの脅威、中東情勢も俄かに緊張が高まってきており新年に持ち越された課題、難題はかなり重たいものがあります。昨年の地域農業は雪解けも早く春作業は順調に進みましたが、6月の異常低温により基幹作物である水稲、また果菜類等の作柄が非常に心配されましたが7月に入つての天候の回復と組合員の皆さんの優れた栽培技術により危機を脱し、水稲に於いては上川作況指数102で出来秋を終えることが出来ました。品質も低たんばく比率が高く、府県の主産地の天候不良もあり需給もひっ迫し高値での取引となりました。しかし青果はきゅうり、トマト、メロン、さくらんぼ等出荷時期が遅れ、葉菜類も年間を通じ弾みのつかない一年となり、本年に巻き返しを図りたいところです。畑作物に於いては、黒大豆はますます旭川産の引き合いは強く連作障害を回避しながら今後も計画的な作付け拡大が求められています。蕎麦は日穀製粉との連携も定着し、小麦も技術力が高まり安定した収量が確保されました。酪農畜産は画期的な出来事としてあさひかわ農協を含む上川中央部4農協の昨年10月から上川生産連への業務委託のブレ実施がスタートしました。本実施移行に向けて、課題はあるものの新たな連携のモデルケースとして各方面から注目されています。農産物直売所あさがおは開設から10年を越え地元に着

## 平成30年の 年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会会長

飛田稔章



組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい平成30年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます次第です。

昨年の北海道農業は、春先は晴れの日が多く、気温も高かったことから農作業・生育も順調でありました。9月中旬以降は、雨の日が多く収穫作業に遅れが発生し、特に9月18日の台風18号によって、全道的にデントコーン・水稲の倒伏、農業施設の損壊などにより、農作物の品質、収量に懸念が生じたところでした。

しかしながら、結果的には、米は、作況指数が103の「やや良」、小麦・てん菜は、収量・品質とも平年作、生乳は、全般的に安定基調と組合員の皆様の努力の成果が報われた1年となりました。

平成28年9月に4つの台風の影響により、河川の氾濫、農地の流出、関連施設の損壊、停電による生乳廃棄など、全道各地で甚大な農業被害が発生し、その傷も完全に癒えない中ではありますが、昨年元旦に新聞紙上で意見広告を行った『それでも種をまく。』という農民魂のもと、JAグループ北海道は着実に前を向いて歩んで参ります。

一方、国際貿易交渉の状況は、TPP11、日EU・EPA、米国との貿

し、時期的には相変わらずの賑わいですが将来的な課題も含め更に生産者との連携が求められて来ています。

EUとのEPA交渉の大枠合意、アメリカ抜きでTPP交渉大筋合意など、貿易自由化に向けて無分別に政府は突き進んでいます。また平成30年度から、国がコメの生産調整に関与しない方針が打ち出されておりいよいよ現実化します。北海道は生産の目安の認識のもとに出荷計画数量が確認されており、農協としても独自の販売網も拡充しつつ、ホクレンなどを通じて北海道米のブランド化を計り販売力の強化に努めて参ります。本年度も頼られる農協として、組合員の皆様に役立つ有益な情報や技術を提供し、農業所得の向上に努めます。また若い組合員さんを中心にGAPや経営の合理化につながる新システムの導入計画が着実に進んでおり、あさひかわ農協としてもこれら農業新時代に適応すべく職員

の教育とより一層の意識の向上を図って参ります。国の金融政策も依然として低金利で推移していくものと思われ、貸出業務も限られたパイの中で他行との厳しい闘い、凌ぎ合いが予想されます。その中で旭川という地域に根差し培った信頼を更に深めしっかりと対応して参ります。共済事業も今後も地域の皆様の安心をサポートさせて頂きますのでご利用の程よろしくお願いいたします。

もう一昨年になりますが改正農協法が施行され、農協改革とそれに伴う規制改革推進会議の提言が依然として農業界を揺るがしています。我々が今進めている自己改革がどの様に評価されるのか、または評価に値しないと判断されるのか、いずれにしても自己改革の努力が空しい徒労に終わらないようにしっかりとサポーターづくりをしなければなりません。本年度はあさひかわ農協として第6次3か年計画の2年目です。基本方針として「豊かさへの貢献」―攻めの農業で地域を守る―これを着実に実践して参りたいと考えています。農協組織が内向きになれば地域の活力もなくなります。既存のパワーに更に女性部の知恵、青年部の行動力、これらを組み合わせ総合力を高め、夢のある生き生きとした農村社会の実現に向かって行きたいと思ひます。本年も農協の事業を通じて地域の活力を結集し、しっかりと組合員の皆様の負託に応えて参ります。新年にあたり皆様のご健康と、平成30年が組合員の皆様、関係各位の皆様にとって幸多い素晴らしい一年になります様ご祈念申し上げます。のご挨拶とさせていただきます。

易交渉など、その進展状況と合意内容、農業経営への影響など生産現場に十分伝わっていないこともあり、将来への不安を抱え、担い手の生産意欲の減退が懸念されることです。

農協改革、規制改革では、生産資材価格の引き下げと見える化、牛乳・乳製品の生産・流通においては、新たな加工原料乳生産者補給金制度を盛り込んだ改正畜産経営安定法が成立するなど農業政策対応に迫られた1年でありました。

JAグループ北海道は、今後とも必要な農政運動や国民理解へ向けての情報発信、JA経営の基盤を強化し、組合員の皆様の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応を図って参ります。

さて、現在、JAグループ北海道は、第28回JA北海道大会のメインテーマである「北海道550万人と共に創る 力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現に向けた決議事項に基づき、その着実な実践を図っているところであり本年はその総括年度となります。

昨年はJAグループ北海道の実践状況について、全体共有を図るとともに実践への機運を高め、JAグループ内外に実践状況を発信すべく、新規担い手倍増と550万人サポーターづくり・准組合員制度をテーマにJA北海道大会実践フォーラムを開催致しました。

引き続き、JAグループ北海道の英知を結集し、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指して参ります。

関係各位の理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。結びになりますが、今年の干支は戊戌(つちのえいぬ)です。

一説には、戊は、「茂」に通じる意味があり、「植物の成長が絶頂期にある状態」を表しているとのことであります。

今年は、この戌年にあやかり、天候に恵まれ実り多い豊穰の一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げ、新年にあたってのご挨拶といたします。

## 新年挨拶

青年部部长

榊原 英起



皆様、新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様方におかれましては日頃より青年部活動に対しまして格別のご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。また、部員の皆様方におかれましては日頃より青年部活動へのご参加、ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、融雪が例年より早く春作業は順調に開始されましたが、6月下旬の低温、7月上旬の高温による作物の生育・管理作業には頭を悩ませたことと思います。

私達青年部の活動も支部から統合し2年が経過しましたが、まだまだ支部時代の垣根があるなど感じています。

青年部活動では6月に田植え作業後の親睦会、7月に日帰り研修会、11月には恒例のスポーツ交流会を行い、多くの部員、職員の方々にご参加いただき、大変嬉しく思っています。

今後の青年部活動は1つでもこのような活動を増やし、継続する事が横のつながりを増やし、支部の垣根を取り除ききっかけになると信じています。青年部員は年々減少傾向にあり、運営も少しずつ厳しくなると思いますが、青年部活動は自己を成長させ、経験した事は将来必ず役に立つ時が来るので、若い部員の方々には、是非、青年部の活動を充実していただきたいと思っています。

最後になりますが今年も関係機関の皆様方のご指導ご鞭撻の程賜ります様お願い申し上げます。今年1年皆様のご健康とご多幸を祈念し新年の挨拶とさせていただきます。

## 新年挨拶

女性部部长

上島 美由紀



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族で輝かしい新年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

日頃より女性部活動に対しまして、組合員の皆様、ご家族、また組合長をはじめ役職員の皆様のご理解とご協力を賜り、深くお礼申し上げます。

昨年の女性部活動では部員の意欲的な取り組みと研修会への多数参加をいただきました。また、女性セミナーでは知恵を出し合い、農業視察などで視野を広げ、笑顔で楽しい時間を共有することができました。

農協法の改正による研修会の開催もあり、3月25日は市内JA役職員、女性部員が農水省の講演に参加し、9月8日には基幹支所運営委員会の合同研修会として女性部役員を始め全委員が集まり、農水省女性課長の方から女性理事の必要性についてのお話しをうかがいました。

その後、各支所、本所役員会で、協議を重ねた結果、女性部より2名の理事選出することを決定いたしました。11月の臨時総会で皆様の意見をいただき、5名の選任委員を選出いたしました。

農協からの助言もいただき、候補者を推薦するまでに至っております。何かが劇的に変わるとは考えていませんが、女性理事の道を開いていただき女性部の代表として理事を選出することにより地域に、農業分野に女性の発想や視点が少しずつ生かされていく事を願っています。

本年も組合員の皆様とご家族、また役職員の方々にご指導とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健康と豊穰の秋となりますことを心より祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

## 改正農協法のポイント 第7回

准組合員の利用規制を導入するか否か、農水省は平成33年3月末までに結論を出す予定にあります。この規制が利用者である准組合員や地域の農業や経済に与える影響を考えてみましょう。

### 地域の農業をともに支える准組合員

准組合員制度が生まれた歴史はわかったけど、JAの事業にはどういふものがあるのかな？たくさんあるって聞いたよ。

正組合員(農業者)を支援する組織だから、農業のイメージは沸くけど、准組合員の人たちはどんな事業を利用しているの？

農業者でなくても利用できる事業がたくさんあるんだね。准組合員になると、どんなメリットがあるの？

そっかあ。准組合員の利用が規制されちゃうと、私たちの生活だけでなく、地域の農業や経済にも悪影響が出ちゃうんだね。

JAには、販売(農畜産物の選果・出荷・代金精算)、営農指導(農業経営・農業技術サポート)等、農業に直接関係する事業はもちろん、生活面でのサポートも含めた幅広い事業を展開しているよ。

JAバンクやJA共済でおなじみの信用(貯金、各種ローン)、共済(ひと、いえ、くるまの保障)事業や、生活(Aコープ(スーパー)、ガソリンスタンド運営)事業もあって、地域の皆さんの生活を幅広く支えているのよ。

ポイントサービスや優遇金利もメリットだけど、准組合員がJAを利用することで、農業振興や地域の発展にも繋がっているのよ。

皆が色んな事業を利用することで、それぞれの事業ボリュームが大きくなれば、効率的な事業運営ができるから、販売事業や農業者への営農指導に、より力を入れることができるのよ。この循環で地域の農畜産物の生産も充実するから、例えば野菜選果場での雇用も生まれるし、皆の事業利用が巡って地域の発展にも繋がっているわ。

JA北海道中央会資料 准組合員について学ぶより1部抜粋

# 新連載【第28回JA北海道大会決議の実践状況について】

今号より「JAグループ北海道改革プラン」で示された全道的な指針に対してのJAあさひかわの取り組み状況を掲載して参ります。今号は実践項目の1つ、「さらに儲かる農業の実現」への取り組みについて掲載します。

## 儲かる農業の実現 JAあさひかわ取り組み状況

### 儲かる農業の実現取り組み項目

#### ① マーケットイン（川下ニーズの重視）のさらなる追求と新たな価値の創出

##### 青果直売課（青果連）

道内外取引市場へ市場動向を調査して、市場から有望視される、みずな、ホウレン草、摘み取り春菊、きゅうりの品目を選定いたしました。販売ルートについても旭川市場を中心として道内外では札幌、釧路、全農大阪、大阪中青、徳島青果を中心に販売市場の選定を行いました。【26年、27年】

##### 米穀農産課

青年部・女性部・生産組織・役員による道内外への消費地訪問を通じ、JAあさひかわ産農産物のPR活動に努めました。【27年、28年、29年】

##### 青果直売課（直売所）

安全・安心な農畜産物の取扱いにおいて、あさがお運営協議会会員より栽培履歴書提出の徹底及び旭川市農業センターと連携し自主的に残留農薬検査を実施し安全性について確認を行いました。【28年】

### 儲かる農業の実現取り組み項目

#### ② 組合員の努力が適切に反映される販売手法の構築

##### 企画課

主食米の作付面積を確保しつつ、加工米・備蓄米・新規需要米・飼料米をはじめ、青果物・小麦・大豆・そば等換金作物の作付け誘導を図り農業生産維持・拡大と直接支払交付金が減少致しましたが農業所得向上に努めました。【26年、27年】

##### 米穀農産課

産地ブランド強化に向け低蛋白米出荷率向上による良質米生産の推進と併せて「安全・安心」な産地形成の構築を図りました。生産者の経営安定と所得確保を図るため、米の作付けにあたり生産者へ目指すべき農業所得確保に向けた品質・収量目標を設定いたしました。【28年】

### 平成27～29年 Yes!clean 米生産者実績

| 平成27年 |          |          |         |         |          |         |       |       |          | (仮)      |
|-------|----------|----------|---------|---------|----------|---------|-------|-------|----------|----------|
|       | ななつぼし    | きらら397   | ほしのゆめ   | きたくりん   | ゆめぴりか    | 吟風      | 慧星    | きたしずく | 合計       | きらら以外    |
| 所前検査  | 13,755.5 | 5,568.5  | 2,636.0 | 2,656.5 |          | 2,739.5 | 555.0 | 122.5 | 28,033.5 | 22,465.0 |
| RT検査  | 11,638.0 | 6,310.0  | 159.5   | 1,407.0 | 17,124.5 |         |       |       | 36,639.0 | 30,329.0 |
| 合 計   | 25,393.5 | 11,878.5 | 2,795.5 | 4,063.5 | 17,124.5 | 2,739.5 | 555.0 | 122.5 | 64,672.5 | 52,794.0 |
| 平成28年 |          |          |         |         |          |         |       |       |          | (仮)      |
|       | ななつぼし    | きらら397   | ほしのゆめ   | きたくりん   | ゆめぴりか    | 吟風      | 慧星    | きたしずく | 合計       |          |
| 所前検査  | 15,640.0 | —        | 1,565.0 | 1,935.5 |          | 3,356.0 | 664.0 | 268.5 | 23,429.0 |          |
| RT検査  | 11,160.5 | —        | 13.0    | 1,308.0 | 23,147.5 |         |       |       | 35,629.0 |          |
| 合 計   | 26,800.5 | —        | 1,578.0 | 3,243.5 | 23,147.5 | 3,356.0 | 664.0 | 268.5 | 59,058.0 |          |
| 平成29年 |          |          |         |         |          |         |       |       |          | (仮)      |
|       | ななつぼし    | きらら397   | ほしのゆめ   | きたくりん   | ゆめぴりか    | 吟風      | 慧星    | きたしずく | 合計       |          |
| 所前検査  | 14,140.0 | —        | 1,611.5 | 2,699.0 |          | 3,849.0 | 999.0 | 537.5 | 23,836.0 |          |
| RT検査  | 14,711.5 | —        | 16.5    | 1,027.5 | 29,742.5 |         |       |       | 45,498.0 |          |
| 合 計   | 28,851.5 | —        | 1,628.0 | 3,726.5 | 29,742.5 | 3,849.0 | 999.0 | 537.5 | 69,334.0 |          |

※平成28年よりきらら397のYes!clan米の取扱を行っていないため、実数量としては27年産が多くなっております。

### 平成27～29年 特別栽培米生産者実績

|      | H27     | H28     | H29     |
|------|---------|---------|---------|
| 出荷契約 | 5,662.0 | 6,588.5 | 6,402.5 |
| 出荷実績 | 4,868.0 | 5,906.0 | 6,033.5 |

※平成28年産よりゆめぴりかコンテストの為に作付の拡大を図っております。



「JAグループ北海道改革プラン」「実施計画指針」は、組合員組織討議を通じて寄せられた組合員・JAからの意見提案をもとに、JA・連合会・中央会が自己改革に取り組みにあたっての全道的な「指針」として取りまとめたものです。

## JAの大会決議実践項目

### ① 始動！多様な価値観に応える北海道農業

1. 儲かる農業の実現
  - 1) 収益向上の取り組み
2. 担い手を育みサポートする仕組みづくり
  - 1) 担い手の確保・育成
  - 2) 組合員の経営サポート
3. 発進！新時代の北海道農業
  - 1) 6次産業化の推進
  - 2) 道産農畜産物の海外への発信
  - 3) 農業の魅力発信
  - 4) 農業の理解促進

### ② 時代に即した協同組合への改革

1. 協同組合の未来方向  
～選ばれ、ともに歩む JA
  - 1) 多様なニーズへの総合的かつ創造的な対応
  - 2) 協同活動の理解
  - 3) 地域社会へ貢献するサービスの提供

## 新連載

# 【第28回JA北海道大会決議の実践状況について】

「JAあさひかわ」が組合員さんにとってなくてはならない組合であるために…。

## 儲かる農業の実現 JAあさひかわ取り組み状況

## 儲かる農業の実現取り組み項目

## ② 組合員の努力が適切に反映される販売手法の構築

## 青果直売課(直売所)

あさがお運営協議会会員宅への訪問巡回による出荷計画の取りまとめで出荷予定の把握と、旭川青果連との連携によりアスパラ・メロン・とうもろこし等を使用したギフト商品の販売を行いました。また、あさがお運営協議会会員自らがイベントに参加し、消費者と会話を交えた販売を実施いたしました。会員からは、「楽しく販売できた」「また参加したい」など充実したイベントとなりました。米穀農産課にて商品化されたJAあさひかわ産「ゆめぴりか」を使用した「パックごはん」「甘酒」の販売を開始しました。旭川農業高等学校では「黒大豆」を使用した味噌の商品化が進められており、完成次第当直売所での販売要請がありました。【28年】

## 米穀農産課(販売担当)

JAあさひかわ特別栽培米の真空パック(450g)小袋・贈答用ケース箱を作成し市内各ホテル、空港、更にインターネット販売等各種さまざまな販売店への営業活動を実践いたしました。

【27年】(新規取引先)  
市内飲食店 10件、空港、ホテル関係 4件、  
会社、取引先関係 5件、インターネット関係 3件

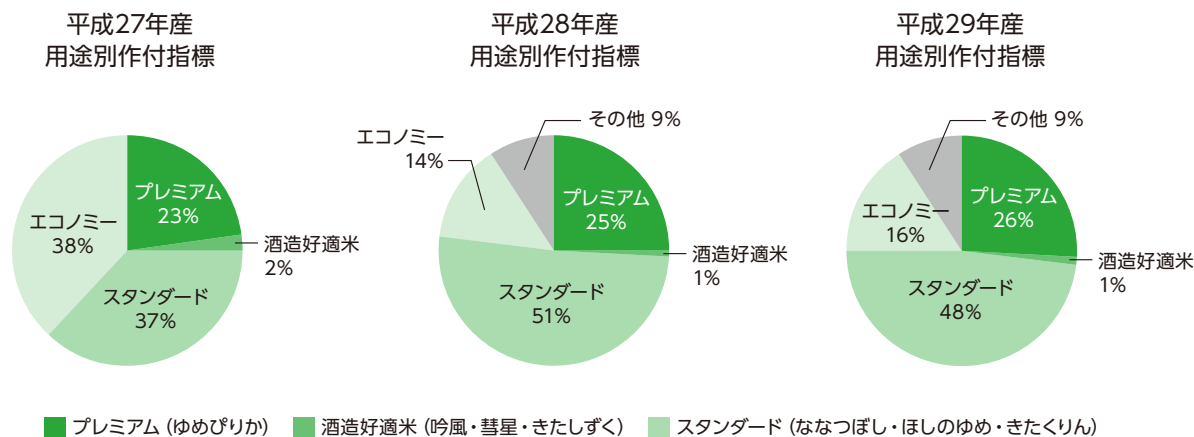
## 米穀農産課

そば販売について、平成27年産から日穀製粉(株)との3ヵ年による複数年契約を行うことで、販売価格の安定化による再生産価格を確立いたしました。【27年】

## T A C

## 全農TAC大会にて表彰

審査講評においては、水稻生産者の担い手から今後の経営安定及び所得確保について不安の声が上がっていたことに対して、マーケティング調査に基づいた品質と収量の両面から新たな生産目標を設定しました。目標設定については、品種によって5つの領域に分類し、それぞれ特徴に合わせた価格設定を行い、所得確保ができるものとしたことが評価されました。また、地域の特産品である黒大豆やプレミアム米「ゆめぴりか」について、農業法人と連携した商品開発を実施し、ブランド化及び付加価値向上につながっています。黒大豆については、担い手と販売先との意見交換を通じ作付面積の拡大にも貢献しました。担い手からは自分の息子のように思っていると信頼関係が構築されており、さらに、農業法人と連携した商品開発、女性部との意見交換、地元消費者との交流など多岐にわたる取り組みを実施したことも評価されました。【28年】



## 儲かる農業の実現 JAあさひかわ取り組み状況

## 儲かる農業の実現取り組み項目

## ② 組合員の努力が適切に反映される販売手法の構築

## 米穀農産課

安心なグリーン農畜産物の生産と供給を目指し、各作物毎の土壌分析による施肥診断と肥料低減マニュアルに基づき化学肥料・農薬等化学合成資材の削減と土づくりに取り組みました。【26年】

## 米穀農産課(販売担当)

特別栽培米を中心としたJA独自精米販売を強化し、新規取扱店の拡大、金融店舗での取り次ぎ販売、スタンドでのイベント販売に積極的に取り組み販路開拓に努めました。【26年】

## 米穀農産課

特別栽培米ゆめぴりかについては、ゆめぴりかコンテスト上川地区金賞を受賞いたしました。今後は全道最高金賞を目指し食味向上対策に取り組みます。【28年】  
28年産Yes!clean米作付実績  
760.0ha (前年713.1ha)  
28年産特別栽培米ゆめぴりか作付面積  
74.1ha(前年57.1ha)

## 米穀農産課(販売担当)

「コープさっぽろ収穫祭」で、JAあさひかわ産米「ななつぼし」のマネキン販売を実施し消費者へ「あさひかわ米」のおいしさを伝えるとともに販売推進を図りました。【26年、27年】

## 米穀農産課

早期新米販売イベントを開催し、地元消費者への販売促進活動を実施すると共に、メリット対策としてJAあさひかわ米の精米販売を行い、生産者手取り向上に向けた取り組みを実践いたしました。【27年】

## 青果直売課(青果連)

旭川青果連GAPについて、説明会を開催し全戸が記帳し普及センター、農業センター、青果連地域担当職員と生産者宅への訪問巡回を行い内部点検(農薬散布手順・効率的な防除・異物混入・農作業安全を重点ポイントにチェックリストをもとに点検)を実施いたしました。【26年、27年、28年】

## 青果直売課(青果連)

ポジティブリスト青果物損害見舞基金補償制度の全戸加入により生産者抛出造成を実施いたしました。【26年、27年】

## 青果直売課(青果連)

道北アークスグループ及びイオングループにて通年の店頭販売を実施し安定的な供給を行い、価格についても相対方式を取り入れ通年販売を実施いたしました。【26年、27年、28年】

## 青果直売課(青果連)

トマトジュース「オオカミの桃」を旭川市内一円に作付推進し、作付面積の増加を図りました。  
【26年】作付面積増加 50a、出荷量 33t  
【27年】作付面積増加 94a、出荷量 73t  
【28年】作付面積増加 63a、出荷量 44t

## 青果直売課(青果連)

きゅうりの作付拡大により安定的な収入を目指し、野菜・水稻農家全戸に作付推進を実施いたしました。【27年】  
接木購入苗助成 21戸 1,112,475円(税別)  
秀品出荷奨励 29戸 851,678円(税別)  
【28年】  
作付増加戸数 1戸、作付面積増加 5a

## 青果直売課(青果連)

イオン旭川駅前店オープンにより、旭川市長が旭川青果連フェアに参加、消費者へ安全安心な野菜をPRいたしました。消費者からも“旭川の野菜をもっと宣伝してください”と激励をいただきました。旭川シティホテルにて、旭川・鷹栖産のサラダバーを提供、また、アレンジ花を展示して多くの観光客・ビジネス客へ宣伝いたしました。【27年、28年】

## 永山年金友の会 温泉湯治

永山年金友の会(会長・河口建二 会員119名)は、11月7日(火)から10日(金)まで3泊4日の日程で25名の参加により、層雲峡温泉ホテル大雪にて温泉湯治を行った。

日頃の疲れを温泉で癒し、日中はビンゴゲームやカーリンコン等を行った。特に初日のカーリンコン大会は白熱した試合を繰り広げた。夜は宴会を行いカラオケ踊り等を披露し大いに盛り上がった。

又、宴会の締めは永山友の会恒例になっている北海盆踊りを全員で踊り、皆一様に楽しい時間を過ごし、有意義な温泉湯治となり無事帰路に着いた。



## 神居年金友の会 温泉湯治

神居基幹支所利用者年金友の会(会長・佐藤勤 会員125名)は、平成29年11月15日(水)から18日(土)まで3泊4日の日程で会員28名参加の中、層雲峡温泉ホテル大雪にて温泉湯治を行った。

1日目は、ホテル到着後さっそく温泉に入浴され日々の疲れを癒していただき、夜には佐藤会長の挨拶のあと室崎監事の乾杯で宴会が行われた。

2日目は、第3回ホテル大雪杯のカーリンコン大会(全道大会)へ参加、最終日は宝引きやビンゴ大会、輪投げ大会を実施し、夜には最終日を締めくくる宴会が田中副会長の挨拶のあと二瓶副会長の乾杯で始まり、宴会中にはカラオケ大会も行われ、大いに盛り上がる最終日の夜となった。

3泊4日の短い期間であったが、参加された会員の皆様は思い出に残る楽しいひとときを過ごした。



## 旭川青果物生産出荷協議会旭正支部創立50周年を祝う

平成29年11月22日(水)、お城の鯉寿しにて旭川青果物生産出荷協議会旭正支部創立50周年の記念式典及び祝賀会が開催され、歴代会長をはじめ生産者・JA・市場等関係者ら70名が参加し半世紀の歴史を振り返った。

昭和42年に農業所得向上に向け8名の組合員からなる「水田そ菜研究会」が創立され米＋野菜の複合経営への取り組みに始まり、組織の統合や婦人部の加入と組織改編を行い、部会制度の設置・道内外先進地視察研修の実施・良品質安定継続出荷への取り組みを強化し、平成10年には11億3千万円の販売高となり、旭正地域の農業基盤を



担った。

大浅会長より歴代会長・歴代事務局・取引先市場に対し感謝状と記念品の贈呈、白鳥組合長をはじめ、来賓よりご祝辞を賜り、第11代会長の村田氏の謝辞により記念式典を閉会し、引き続き行われた祝賀会では、神田専務の祝杯にて祝宴が始まり、当時の苦労話や思い出となった出来事など昔話を花を咲かせ、楽しいひと時となった。



## JAあさひかわ女性部 臨時総会及び全体研修会が開催される

11月22日(水)JAあさひかわ本所大会議室において、白鳥組合長出席のもと114名の役員・部員が参加し、JAあさひかわ女性部臨時総代会が開催された。

女性部綱領・5原則朗唱のあと、上島部長の挨拶、白鳥組合長より挨拶をいただき議事に入った。

臨時総会は、改正農協法に基づく理事要件変更への対応に伴い、女性農業のJA運営参画促進に向けた取り組みとして開催され、議案事項である、「女性理事選任委員会設

置要領」について審議し承認がされた。

同日、臨時総代会終了後、JAあさひかわ女性部の全体研修が開催された。上川農業改良普及センター松本係長を講師に迎え「野菜の研修会」を開催。土壌と病害虫対策をテーマに、「野菜の分類と生育温度、連作の強さ」「防虫ネットの利用での農業低減」等の講演がなされ、メモを取ったり質問したりと参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていた。



## 永山女性部農家の食卓を開催

10月31日(火)、永山市民交流センター2階講堂において、第4回目となる【農家の食卓】が開催された。女性部の部員が自ら育てた野菜や米を使って調理したものを大皿に盛り、パイキング形式での食事となった。部員が料理の前に立ち、作り方や苦労話を交えながら消費者との交流を行った。

来場者からは、とても美味しかったので昨年に引き続き申し込みをしたとの声が多数聞かれた。子供や孫たちに食べさせたいと、レシピを聞く姿も見られ今回も大好評となった。



## ボウリングと懇親会で深まる交流 JAあさひかわ青年部が開催

11月10日(金)、ディノスボウル旭川でJAあさひかわ青年部と職員とのスポーツ交流会が開催された。

この大会は、日頃の農作業の疲れを癒やし、また、体を動かしながら交流を深めるとともに、職員と親睦を図ることを目的として、例年開催されている。今年は67名の参加者が集まった。

榊原部長より開会挨拶が行われ、ボウリング大会が行われた。女性にはハンディ40点を加算し、個人戦・レーンごとの団体戦で1ゲーム行い、一投ごとに盛り上がった。

ボウリング大会終了後は懇親会場へと場所を移動し大

いに花をさかせ盛会のうちに終了した。



## 道教育稲作体験塾 ～そばうち・しめ縄づくり編～

JAグループ北海道と北海道教育大学旭川校の主催による「そばうち・しめ縄づくり体験塾」が12月10日(日)、江丹別若者の郷で開催され、旭川校の学生ら大学関係者43人が参加した。

神田専務から「寒暖の差が大きく、安全・安心な江丹別産そばは、地区内の製粉工場で挽き立てを供給しています。新そば粉の豊かな風味をぜひ楽しんでください」と挨拶をいただいた。

そばうちの講師 小野寺勝三氏よりそば打ちについての「水回し」「ソバ玉」などについての指導を受け、全員が

みごとな手打ちそばを完成させ、自らが打ったそばを試食した生徒たちは、顔をほころばせながら、各々そばの風味を堪能していた。

その後、しめ縄作り体験を開催。講師には神居地区浅野晃彦氏にお越しいただき、稲わらの特徴等についてお話を聞いた後、しめ縄づくりの作業に入った。学生達はしめ縄づくりに興味津々で稲わらを受け取り、楽しそうに作業をしていた。最後には学生達が作ったしめ縄を手に持ち、集合写真を撮った。



## JA北海道実践フォーラムが開催される

11月21日(火)北海道実践フォーラムが開催され、当JAからは白鳥組合長、青年部より榊原部長、大澤部員、女性部より上島部長、藤井副部長が参加した。本フォーラムは平成27年に開催したJA北海道大会における決議事項の実践を着実に進めることを目的として開催されており、JAグループ北海道が大会決議事項の実践内容や農業・JAの意義を発信し、消費者から信頼されるJAグループ北海道を目指すことが再確認された。



## コンプライアンス研修会並びに情報セキュリティ研修会を開催

平成29年度コンプライアンス研修会並びに情報セキュリティ研修会が11月14日(火)本所3階大会議室、15日(水)北野支所の日程で開催された。

講師に北海道農業協同中央会旭川支所より、宮本次長、大関主査をお招きし、不祥事を発生させない職場づくり等について説明があり、職員は皆、真剣に聞き入っていた。

## 道米対並びに米政策に係る中央要請

11月14日(火)、15日の日程で道米対並びに米政策に係る中央要請が実施され、当JAからは白鳥組合長が参加

した。米政策に係る農林水産省との意見交換会が行われ、道内外選出与党国会議員に対して政策要請が行われた。



T とことん A 会って C コミュニケーション

## TACパワーアップ大会2017

## TAC表彰を受賞

11月16日(木)・17日(金)の2日間、新横浜プリンスホテルにおいて、全農主催によるTACパワーアップ大会2017が開催され、担い手から旭正地区石坂寿浩氏(特別栽培米部会会長)、神田専務、白崎部長、TAC担当5名が参加し、営農企画部米穀農産課上原調査役がTAC表彰を受賞した。

## TAC表彰を受賞

今年の大会には、全国のJAのTACと県域を含む営農経済事業関係者約500名が参加して開催された。

開会にあたり長澤豊JA全農経営管理委員会会長は、「10年という節目を迎えたのは、TAC活動を理解し支えてきたJA役職員とJAグループのみなさんのおかげ」だと謝意を表したうえで、TACの活動が生産振興、経営相談、新規就農、担い手の動向など「JAの総合力で応える高



挨拶する長澤会長



パワーアップ大会の様子

いレベルに進化してきている。生産現場での労働力不足に対応など農業生産への対応、あるいはAIの活用など情勢は絶えず変化をしている。このような時こそ、現場の声にこたえてすみやかに対応することが大事であり、TACの皆さんがさらに進化されることを期待する」と挨拶した。

## 営農企画部米穀農産課 上原調査役がTAC表彰を受賞！

営農企画部米穀農産課 上原調査役がTAC表彰を見事に受賞した。JAあさひかわ独自商品を求める声に対し、農業法人や担い手、JAが一体となり、北海道を代表するトップブランド米「ゆめぴりか」を使用した甘酒を開発。「ゆめぴりか甘酒」は六次産業化コンテストで「大賞」受賞。商談会に積極的に参加し、販路拡大に寄与したことも高く評価

された。

また、米の販売強化のため、JAあさひかわ特別栽培米部会を担当し、部会相互の情報交換の機会を多くすることで、意思統一を図っており、担い手とJAによる「顔の見える販売」を積極的に展開したことが評価され、上原調査役は全国TAC担当者に向けて、取り組み内容を発表した。



事例発表する上原調査役



表彰式



# 理事会だより

## 第10回 理事会

平成29年10月30日(月)

### 協議事項

- 役員に関する改正農協法への対応及び役員執行体制について
- 定款・規程類の一部変更について
- 役員選任等の日程について
- 平成29年度9月末に於ける事業実績（子会社含む）及び仮決算（子会社含む）の状況について
- 担保評価マニュアルの一部変更について
- 不祥事件について

### 報告事項

- 信用事業譲渡（代理店）に関する信連手数料について
- 内部監査の実施報告について
- TAC活動状況報告、主要農産物の状況について
- 平成29年産米の出荷状況について
- 営業時間の変更について
- 農家経営対策組合員の平成29年度第3四半期実績について
- 自己査定マニュアルの一部変更について
- 組合員の加入及び脱退の状況について
- 今後の日程について
- その他

## 第11回 理事会

平成29年11月29日(木)

### 協議事項

- 渉外活動に係る監査の実施報告に対する回答について
- 不祥事再発防止策について
- 臨時総代会について
- 組合員懇談会の開催について
- 平成29年度10月末に於ける事業実績（子会社含む）及び仮決算（子会社含む）の状況について
- 平成29年度 農業重点品目奨励・農業大口奨励施策について及び平成30年度 農業重点品目・奨励・農業大口奨励施策(案)について
- 年末手当の支給について
- 出資金の減口について

### 報告事項

- 渉外活動に係る監査の実施報告について
- 内部監査の実施報告について
- 第4回上川中央地域農協畜産業務集約化検討委員会について
- 鷹栖町へ平成30年度農業予算に関する要望書について
- 経営安定対策等各種助成金について
- 反社会的勢力排除対応管理先に係る対応状況報告について
- 疑わしい取引の届出にかかる第3四半期定期報告について
- 平成29年度 第4四半期余裕金運用計画額および運用方針について信用事業及び共済事業における相談・苦情等（上半期）の報告について
- 信用事業取扱事務手続の改正について
- 大口貸付先の条件変更について
- 子法人等9月末事業実績について
- 事務リスク管理規程に係る第3四半期のコンプライアンス事故報告概要について
- 組合員の加入及び脱退の状況について
- 年末年始の営業時間について
- 人事異動について
- その他

### 職員の異動(採用、異動、退職)について

平成29年10月2日～29年12月1日までの職員の異動を下記の通りお知らせします。

| 退職 | 日付    | 資格名 | 氏 名  | 所 属        |
|----|-------|-----|------|------------|
|    | 11/29 | 係   | 滝川 大 | 神楽金融支所支所課係 |

| 異動 | 日付   | 資格名 | 氏 名   | 新 役 職               |
|----|------|-----|-------|---------------------|
|    | 12/1 | 調査役 | 松原由美子 | 共済部共済課事故サービスセンター調査役 |
|    |      |     |       | 旧 役 職               |
|    |      |     |       | 豊岡金融支所貯金共済課調査役      |

## 監事会・監事監査の報告

### 監 事 会

|          |               |
|----------|---------------|
| 第14回 監事会 | 平成29年10月30日開催 |
| 第15回 監事会 | 平成29年11月7日開催  |
| 第16回 監事会 | 平成29年11月20日開催 |

### 監事監査

- 1.無通告監査  
平成29年10月に2金融支所、1資材センター、管理部を実施  
平成29年11月に営農企画部、金融部、2金融支所を実施
- 2.随時監査  
平成29年10月に11金融支所、2給油所、1資材センター、購買燃料課を実施  
平成29年11月に1金融支所、金融部、共済部、管理部を実施
- 3.第3・四半期監査  
平成29年11月20日から12月1日までの間で6日間実施

## 第6回 臨時総代会

平成29年12月26日(火)

- 1 定款の一部変更について
- 2 (定款附属書)役員選任規程の一部変更について

## ・／あさひかわ

(平成29年11月末実績)

## 概要

| 組 合 員 数     | 正組合員    | 2,008  | 名 |
|-------------|---------|--------|---|
|             | 准組合員    | 20,798 | 名 |
|             | 合 計     | 22,806 | 名 |
| 出 資 金 残 高   | 2,114   | 百万円    |   |
| 販 売 取 扱 高   | 4,835   | 百万円    |   |
| 生産資材供給高     | 1,340   | 百万円    |   |
| 給 油 所 供 給 高 | 1,210   | 百万円    |   |
| 生 活 供 給 高   | 75      | 百万円    |   |
| 貯 金 残 高     | 102,167 | 百万円    |   |
| 融 資 残 高     | 14,800  | 百万円    |   |
| 長期共済保有高     | 1,847   | 億 円    |   |

|                                   |       |          |             |
|-----------------------------------|-------|----------|-------------|
| お悔やみ<br>読んでおく人のご冥福を<br>お祈り申し上げます。 | 10/3  | 村田 博美 さん | 旭川中央牛朱別農事組合 |
|                                   | 10/8  | 伊林 辰夫 さん | 北野地区1区町内会   |
|                                   | 10/18 | 澤田 秀夫 さん | 旭正地区共栄2農事組合 |
|                                   | 10/29 | 長谷川隆春 さん | 神居地区江丹別農事組合 |

### 新入職員紹介

神楽給油所 やまなか なおき  
山中 尚紀

- ①生年月日 1994.9.18
- ②出身地 旭川市
- ③最終学歴 旭川大学
- ④趣味 プロ野球観戦
- ⑤JA職員として一言  
一日でも早く仕事を覚え、地域に貢献できるように一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。



# JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。  
JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特レックスなど、組合員の皆様に定期的ににお伝えします。  
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

### JA北海道中央会

#### 【北大との連携協定を締結】

JAグループ北海道と北海道大学は、食と農を中心とする幅広い分野の科学技術・学術及び産業の振興、教育の発展を目的とした包括連携協定を締結しました。

農業・農村を取り巻く様々な課題に対応するべく、北海道大学と共に、先端技術を活用した農業生産、道産農畜産物の価値創出、地域社会づくりや人材育成などの面で連携・協力関係を築きながら「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」の実現を目指します。



### JA北海道信連

JAバンク北海道は、家族や周囲の人へ伝えたいことを書き残す「エンディングノート」のセミナーを初開催しました。



(10月・札幌市)行政書士の山根氏が相続・遺言の仕組み等を解説後「エンディングノートは遺言書を作る準備にもなる」とJAバンク版エンディングノート「いまから帳」の書き方を紹介し活用を呼びかけ、「大変参考になった」等、参加者にご好評いただきました。

### ホクレン

北海道の味覚を堂に集めた毎年恒例秋のイベント「2017第46回ホクレン大収穫祭」を札幌三越本館で開催しました。生産者の方の営農へのこだわりを消費者に知っていただくとともに、消費者の方がどんなことを生産者に望んでいるかを知りあう場として、交流イベント「食と農のふれあい広場」を開催。JA道青協、JA道女性協の役員の皆様のご協力もあり、どのイベントも大盛況でした。



### JA共済連北海道

10月より、地域貢献活動の一環として組合員や地域住民の皆さまにJA共済のロゴ入り反射材付き帽子5万個を配布しています。夜間でも運転者が歩行者を視認しやすくなることを目的に全道JAを通じて順次配布し、交通事故未然防止と根絶を呼びかけます。



今後とも組合員や地域住民の皆さまが安心・安全に暮らせるよう、地域貢献活動に取り組んでまいります。

### JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので是非ご覧ください。

